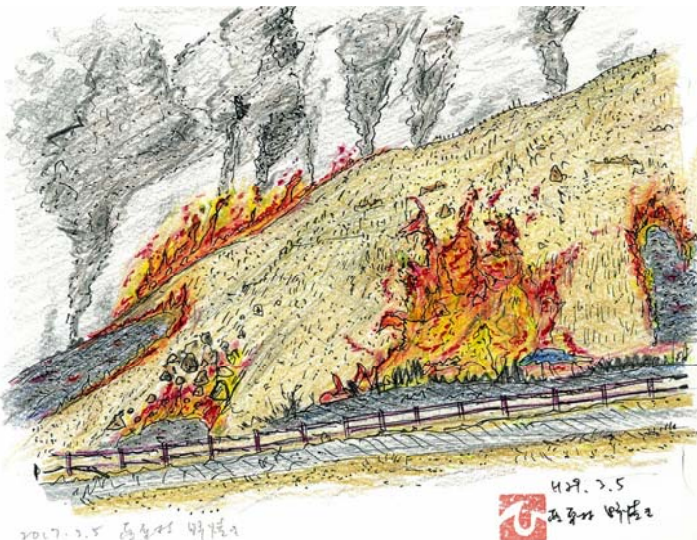


晴耕雨読 45

発行:株式会社 建設プロジェクトセンター
建設コンサルタント・補償コンサルタント・測量業・地質業登録
〒869-1234
熊本県菊池郡大津町引水215-1(技術研究所)
本社:熊本市/八代支店/合志営業所
TEL:096-293-4400/FAX:096-293-4885
E-mail:kenpro@muc.biglobe.ne.jp

Vol 45 May 2017

4月16日で熊本地震から早1年が経ちました。予期せぬ大地震で「まさか」の時のために日ごろから「その時」の備えをしておかなければならないと、改めて考えさせられる16日となりました。



阿蘇外輪の草原を守るには、千年以上も続くと考えられる「野焼き」が不可欠です。今、数多くのボランティアに支えられ草原が守られています。H/N

身近な環境への思い

暮らしを支える川づくり

左:ゲンジボタル
右:ヘイケボタル



もうすぐ蛍の飛ぶ季節。現代のような虫カゴが無い時代、小ピンにホタルとホタルが止まる草花「当時ホタル草と呼んでいた」を入れてましたが、草花の名前は実は「ハクチョウゲ」のことで、この花が咲く頃は「ホタル採り」が私の心象風景でもあります。熊本の清流域のホタルは、「ゲンジボタル」が殆どです。ゲンジボタルとヘイケボタルの大きな見分け方は、頭に十文字模様が有るのがゲンジボタルで、曲線的な飛び方をするのが特徴。ヘイケボタルの頭は縦線模様で直線的な飛び方をするのが特徴。飛翔しているホタルの殆んどはオスで、メスは草むらでじっとしていることが多いといわれています。皆さんも注意深く観察してみてください。A/T

花房に車庫をとられて...

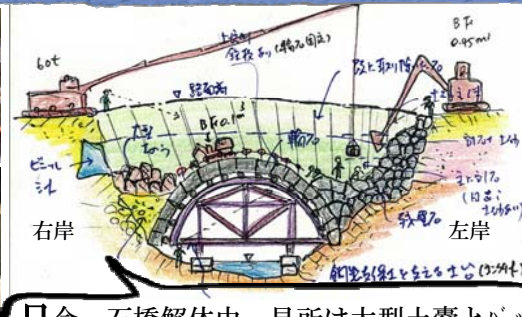


会社のフジもきれいに咲きました~~

数年前、我が家の駐車スペースに単管で六角堂を作りました。屋根は布製、型紙をCADでおこし、縫製は家内。ところが、隣の藤が自分の棚があるにも関わらず、領土拡大意欲旺盛で全面占拠の勢い。尖閣列島は守り抜かないといけませんが、ここは花の時期全面撤退も検討中。親は薄紅、子供は藤色なので接ぎ木されていた様です。M/T

藤の花言葉「優しさ・歓迎」は藤の花穂の垂れている姿が頭を下げて客人を迎え入れる振袖の女性に例えられたことから来ているそうです。素敵ですね~

双子橋の第二侯橋復旧工事監理 美里町 (Vol.2)



只今、石橋解体中。見所は大型土嚢とバックホウで輪石の動きを見ながら、1つ1つ丁寧に輪石を解体する技術。一度見に来て下さい!! (3月末には小学生が見学に来ました) H/N

自助共助を实践したすばらしい地域
一新校区 熊本地震の記録 (H/N)

右の写真は、一新校区自主防災クラブ・一新校区自治協議会が中心となり、前震直後からの避難所運営実録をまとめられた冊子です。日常的に行われていた防災フェアや各種団体の協力し合う地域づくりが最高の連携プレーとなった重要な資料で、大変すばらしい内容です。

まさかの時に備えていたリカーが大活躍!!



Human Architectur

デージー(延命菊)



陽がさすと開き、陽のない日や夜に花をすぼめる可愛い花デージー。その性質にちなんで、日の眼の意味を持つ「day's eye (デイズアイ)」が語源です。花期が長いことから、延命菊とも呼ばれ、イタリアの国花となっているそうです。N/S

瑠璃色蝶 がんばれ!!



瑠璃色の羽根が鮮やかで、絶滅危惧種に指定されている希少なチョウ「オオルリシジミ」が、今年も阿蘇地方の草原で飛び交い始めていますとニュースで耳にしました。熊本地震による地割れや野焼きが出来なかった事が原因で個体数が減った様ですが、元気に育って欲しいと思います。T/B (写真HPより引用)



田園の中に突如現れる大分県の原因の滝は豊後大野市にあり、阿蘇4溶結凝灰岩が崩落してできた滝とのこと。吊り橋を渡り、滝の周りを一周することが出来ます。T/B



身近な地域復興への思い

ブルーインパルス



今年は桜の開花が遅く2005年以来12年ぶりに遅い開花で、観測史上最も遅かった年は1962年の4月2日だそうです。昨年より10日遅い開花だったので、色々見て回ることができました。左の写真はブルーインパルスが熊本地震からの復興を願って空に描いた桜です。この日、何人の人が空を見上げていたのだろうと考えると、胸が熱くなります。1/0

地中の世界(日本一の水鍾乳洞)



地下の世界「稲積水中鍾乳洞」日本最大の水中鍾乳洞へ行ってきました。1976年にダイバーによる潜水調査が始まったそうで、水中を見るとダイバーの命綱であるロープが見えます。新たに発見された鍾乳洞入口には「現在調査中」の看板! 洞窟の水中を進むダイバーの姿を想像するだけで鳥肌ものです…。T/B

Happy Mother's Day



5月14日は母の日でした。長女が私にバレない様に、カーネーションを準備していました。昨年は余震も続いていて、母の日どころではなかったのですが、1年経って少しずつ日常が戻ってきた事を実感できました。

名古屋空港に向かう途中で見た富士山
飛行機雲???



身近な土木文化への思い

地震災害等では

Civil Engineering

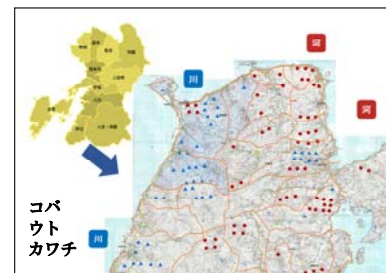


平成28年度優良業務で表彰されました。

これからも頑張ります!

地名が表す災害の歴史

熊本地震から1年が経過し、インフラや被災地等の復旧復興が進む中、被災地の跡地利用や防災のあり方、災害記憶の継承等、時間の経過とともに様々な課題が浮き彫りとなっています。昨年、道路・河川砂防・橋梁等、未曾有の地震災害復旧業務に携わり、余震が続く中でのインフラ緊急点検と安全対策、被災要因の判断と対策工選定に特に係りました。防災に対する日頃の備えと意識が重要なことを改めて実感しました。日本では地名そのものが、災害を起こす地形を表している場合が多く、図は天草の地図に地名の分布を示したものです。T/M



熊本の鋼橋(No.9) N/S

熊本地震1年後の俵山バイパス6鋼橋の復旧状況

熊本地震で甚大な被害を受けた俵山トンネルルートは、俵山トンネルと旧道を迂回路として、昨年12月24日に開通。損傷が大きかった俵山バイパスの6つの鋼橋の復旧工事は、着々と進み、大切畑ダム橋は復旧が完了し、桑鶴大橋・すすきの原橋・扇の坂橋は平成30年3月を目標に復旧完了予定です。損傷が大きい大切畑大橋(ジャッキアップ&横移動)と俵山大橋(架替え)は、開通までにはもう少し時間が掛かりそうです。支承、落橋防止装置及び伸縮装置に大きな損傷を受けた扇の坂橋では、端部及び支点部のジャッキアップを行い支承及び伸縮装置の取替工事が進んでいました。6鋼橋の型式、橋長:①大切畑大橋【鋼桁橋・265m】、②大切畑ダム橋【鋼桁橋・35m】、③桑鶴大橋【鋼斜張橋・160m】、④扇の坂橋【鋼桁橋・128m】、⑤すすきの原橋【鋼桁橋・43m】、⑥俵山大橋【鋼桁橋・140m】

■後記:平成28年4月の熊本地震では県内に大きな傷跡を残しました。復興の過程をスケッチや写真で伝える機会にもなりました。水源が枯れた南阿蘇村の塩井社水源など暮らしや風景が変わった地域もあり、その現実を伝えるべきことが沢山あります。今後も皆さんへ地域復興を中心に紹介してまいります。この晴耕雨読は職員の協力で発信しています。

「且座喫茶」(しゃざきっさ)は、地震に見舞われましたが、現実を受け止め心を豊かにしていく必要と思います。たまにはユックリ座ってお茶でも飲もうよ、という意味の四字熟語です。



熊本県内を移動していると、まだまだ地震の爪痕が多く残っています。急がれる復興ですが、四字熟語の言葉の様にたまにはユックリお茶でも飲んで、また頑張ろう!!

喫

熊本城の石に思う

熊本地震により石垣に大きな被害を受けた熊本城ですが、崩れた石垣に跡のような跡を見つけました。これは矢穴と呼ばれるもので、切り出した巨石を石垣に適した大きさに分割した時に残った跡でした。石工が石を割る時、分割したいラインを決め、ノミと金槌で矢穴を掘ります。矢穴と矢穴の間は少し間隔を空けてミシン目にします。掘った矢穴に、矢と呼ばれる鉄製のクサビを入れて上から叩き込むと、ラインに沿って亀裂が生じ石を割ることが出来ます。硬い石をなるべく少ない労力で加工する石工の技術です。K/S



茶

